

ドイツ連邦食料・農業省 農林漁業最新情報  
Bundesministerium für Ernährung und Landwirtschaft  
NO 27  
2019・10・20

1 クレックナー大臣：漁獲割当量は魚の現況回復に貢献 (2019・10・14)

－ 2020 森林戦略とアメリカの制裁関税－

連邦食料・農業大臣クレックナーは、バルト海の漁獲量について EU-大臣と協議した。さらに大臣は、2020 年森林戦略とアメリカ制裁関税について、ドイツのスタンスを明らかにした。ルクセンブルグにおける農相理事会に際して、EU-漁業大臣と 2020 年度バルト海での漁獲量の可能性について議論した。その際、クレックナー大臣は EU 一委員会の提案に対する、ドイツのスタンスを示した。

委員会のドラステックな提案の実行は、部分的にドイツのバルト海漁業者と、その家族についても劇的な状況をもたらす。同じように西部海域の余暇漁業(釣り人)のタラについて、1 日当たり 7 匹から 2 匹への削減は適切でない。これは沿岸市町村における観光において、重要な余暇漁業を著しく妨げる。多くの釣り人は、もはやバルト海沿岸へ旅立たないだろう。これは持続的な魚の現況回復と長期的に安定した捕獲のために、捕獲量の削減が重要であるか明らかである。

だがしかし、我々は西部海域のニシンと同じくタラは、科学的に支持し得る魚の現況発展の観点から、僅かな減少にとどまっている。バルト海の魚類は、既に今困難な状況にある。そのため、我々は魚にとって不利になっている多様な原因を配慮した、広範な行動プランの策定を EU 一委員会に要求する。さらに決定的なこと：まだ継続している重大な結果を招く転機に際して、我々は期限付き休漁政策を支持する。

### **競争を歪める補助金支払いの廃止を**

クレックナー大臣は、ルクセンブルグにおいて、2020 年以降の共通農業政策 (GAP) のための、一連の立法について意見交換を継続している。連邦政府に関して特に高度な、かつ野心的な環境基準と並んで、決定的に重要な競争の大枠条件もまた、重要と大臣は強調した。

”我々の農業者は、共通域内市場の可能性から利益を得ている。競争は公平にする限りにおいて全てを助ける。GAP に結びついた補助金支払いは、競争の歪みに反対するために、多くの分野において導入している。特に畑作において。さらにその土地に合わない栽培は導入しない。このため私は、この支払いの明確な停止に努力する。競争を歪めることに効果を示すような、新しい分野のプログラムにおける奨励手段の創設を、私は拒否する。”

## **EU－2020 森林戦略**

EU ー委員会のイニシアチブでの 2020 森林戦略を、ドイツサイドから歓迎する。健全で活力ある森林の重要性を考慮して、多くの持続的な発展目標達成のための議論がさらに遅れている。特に森林の中心的な意義は、気象保護、生物多様性の保護である。しかし、古臭い経済からの転換もまた、循環するバイオ経済を、より十分に創出することが重要である。

将来の EU が欠くことのできない要因として、EU の森林戦略計画の中で、「緑の協定」を取り上げるべきと、クレックナー大臣が EU ー理事会で述べた。森林と林業の分野において、ドイツは既に長年にわたって、森林保護のための支援政策と責任を担ってきている。それは国内レベルでの森林の修復と持続的で伐採の少ない農業供給チェーン奨励のために、そして発展共同活動と国境を越えた支援である。アムステルダムー協力における活動を通じて。

今後、2020 EU 森林戦略には以下のことを期待している。

- ◎ この戦略は他の政策との密接な接点を確保する。(例えば、アジェンダ 2030、気象保護、エネルギー、生物多様性の確保、バイオ経済、世界的な森林保護と修復)
- ◎ 健全で活力ある森林の保持とその持続的な管理を奨励する。
- ◎ 同じ考えをもった加盟国とのネットワークと自発的なイニシアチブのために、より多くの活動の余地を提供すること。EU ーレベルでの交流を奨励するために。

## **ヨーロッパ農産物へのアメリカの制裁関税**

EU ー農業大臣は農産物へのアメリカの制裁関税について、意見交換を行った。これについてクレックナー大臣：”これは甘受できない。我々の農業者はこの係争において、航空機補助金に巻き込まれそして犠牲になっている。アメリカのこの行動は、両国にとって経済的な不利益をもたらす。”

制裁関税スパイラルが回転するとき、アメリカの消費者もまた利益を守る意味において、代償を支払うことになる。そのため、ドイツは常に交渉打開策を支持し、そしてこれをさらに推進する。しかし、我々はナイーブでない。2020年春のボーイング機墜落事故におけるアメリカの補助金について、WTOの決定が遅れている。

### **漁獲割当量の背景：**

今提出されている EU 一委員会提案でもって、加盟国のバルト海における 2020 年の EU 一総漁獲量と割当量は、ニシン、タラ、プレイス（訳注：カレイ科の一種）、サケ、ニシンについて決定された。ドイツに関しては、重要な魚の現況について、委員会の提案が以下のように予定されている。

- ◎ 西部海域のドイツのタラ漁獲量について約 68%の削減。  
東部海域のドイツのタラ漁獲量について、重要な基礎部分 24(バルト海のリューゲン島の前沖)での休漁。  
この西部・東部海域は混合される。それは 2000t(-91%)という低い漁獲量が決定された。
- ◎ 余暇漁業の日最大捕獲量は、西部海域のタラが 7 匹/日、そして 1 人の釣り人がタラ 2 匹に削減された。
- ◎ 西部海域のニシンについて、EU 一委員会は約 71%の削減を提案している。

## 2 クレックナー大臣：バルト海における漁獲割当量

(2019・10・14)

連邦食料・農業大臣クレックナーは、今日ルクセンブルグでバルト海における漁獲可能性の確定のための、ヨーロッパ農業理事会で交渉した。今年において重大な決定が新たに延長された。大臣は、今日以下の項目を支持した。

### 1 西部海域のニシン

- ◎ 我々は EU 一委員会 (KOM) が、この漁業終了の無いことに感謝したい。これはバルト海の多数年プランでもって一致したものである。
- ◎ だがしかし、私はドラステイックなカットの社会的・一経済的影響に直面して、委員会から推薦された 71%の漁獲量削減を支持した。
- ◎ 我々は、西部海域のニシンに対する気象変動の影響に関して、新しい研究の考慮について、国際海洋研究委員会 (ICES) に要請することを、EU 一委員会に求めた。

- ◎ ICES は場合によっては、漁業上の捕獲量と生物資源のための推奨値もまた変更する。
- ◎ さらに ICES は、回復プランのための要因を立案する。漁業を中止する代わりにしっかりとした漁獲量確定のための科学的基礎を、我々に提供するために。

## 2 西部海域のタラ

- ◎ バルト海漁業者のための第 2 の重要な柱は、西部海域のタラ漁業である。
- ◎ 我々は部分的に今の魚の現況に関する総漁獲量の確定に関して、EU 一委員会の非常に慎重な姿勢を理解できる。それにも拘わらず我々は、漁業の状況について魚の認め得る現況回復のために、ICES-提案の変動幅のもとに、より少ない削減にとどめること。
- ◎ 我々は余暇漁業との関連において、EU 一委員会の提案は受け入れがたい。” 靴の許容量”、つまり 1 人の釣り人が、1 日当たり 2 匹に減らされることは、ドイツのバルト海沿岸の釣り観光の終了に等しい。多くの釣り人は、バルト沿岸への旅を最早計画しないだろう。我々はこの状況を考慮して、釣るタラを 7 匹から 5 匹への削減を要求する。
- ◎ 我々は最終的に西部海域のタラの禁漁期を、再び導入するという EU 一委員会の提案を歓迎する。早急に可能な限り魚の現況回復を支援するために。勿論、かつての 2 月から 3 月の禁漁期（1 月から 3 月の代りに）を可能な限り実施すべきである。これは科学的な評価にも対応している。両海域のタラの現況について、さらに禁漁期における科学的な漁業を実施すべきである。
- ◎ 新しい監視一計画の導入は、我々の観点からも同じく課題である。西部一東部海域のタラについて、12m の長さの小さな無人機カメラ一装備で監視するという、委員会提案を我々は、現代に即して受け止めた

2019・10・17 訳  
青森中央学院大学  
中川 一徹